

平成25年10月4日

## 「物流センタ改善報告会」を開催しました

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ(代表取締役社長:中川雅行、本社:東京都千代田区、以下、「NTTロジスコ」)は、9月26~27日に、本年度2回目(前回:4月11~12日に開催)となる「物流センタ改善報告会」を開催いたしました。

NTTロジスコグループでは、サービス品質・生産性向上のために、TPS(トヨタ生産方式)の手法をベースとした2S・改善活動、日次収支管理、レイバーコントロールの徹底に日頃から取り組んでおり、今回、全国の物流センタや在庫管理室、事務管理センタ等から選抜された23チームが日頃の活動の成果を発表し、第1~第5位と特別賞を決定しました。

順位	部署	改善概要	取扱品等
1位	千葉物流センタ	作業者の多能工化、作業手順やPC操作の標準化、作業道具の定置化、作業進捗の見える化等を複合的に推進し、作業のセル化に向けた土台作りを実施、生産性をアップ	通信機器
2位	小牧物流センタ	出荷業務の効率化のため、保管エリアの集約やピッキングしやすい商品配置へ工夫するなど、前工程の段階から改善を実施。作業の標準化及び作業者の多能工化による稼働削減と併せ、生産性をアップ	医療機器
3位	堺物流センタ	DPS(デジタルピッキングシステム)及びコンベアの短縮・撤去により移動距離の短縮やピッキング作業の見直しを実施。また、まとめ作業を無くしPCP*化するなど出荷作業を効率化し、生産性をアップ *Pick Check Pack・・・ピッキングから検品梱包までを、1人の作業者が連続して完結させていく作業手法	通信機器
4位	市川物流センタ	梱包作業台の改良による振り向き動作の削減、丁合作業の平準化及び同期化、作業動線短縮のためのレイアウト変更、シュリンク機のスピードに合わせたセットアップ作業の見直し等を行い、荷役コストを削減	通販
5位	千葉物流センタ	保管スペースの圧縮と作業場所のレイアウト変更により作業動線を短縮し、荷役コストを削減。保管スペース圧縮については、お客様への保管コスト削減提案につながった点も評価	レンタル品



今回評価された改善手法を全社に水平展開していくとともに、TPSの手法をベースとした2S・改善活動をLGPS(Logiscope Production System)として進化させ、改善活動をさらに推進していくことで、今後もお客様にローコスト・高品質なサービスを提供してまいります。

[本件に関するお問合せ]

株式会社エヌ・ティ・ティ・ロジスコ

業務部LE部門

企画総務部広報担当

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-8-1

<http://www.ntt-logiscope.co.jp/>

TEL 03-5532-0816

TEL 03-5532-0831